

Super Unit

取扱説明書

SU25
SU40

この度は、スーパードライブユニットを購入して頂き有難うございます。
この取扱説明書には、安全にお使い頂く為の正しい操作方法と、より長くご使用頂く
為の手入れ方法を説明してあります。ご使用前に必ずよく読み、よく理解した上で、
正しくご使用下さい。取扱説明書をいつでも使用出来るよう大切に保管して下さい。
取扱説明書や警告ラベルを紛失された場合は、購入店にてお求め下さい。

■各部の名称



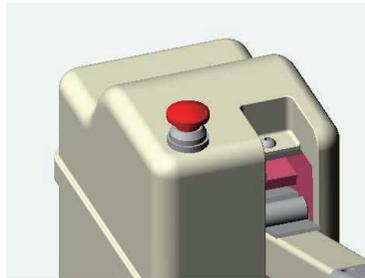
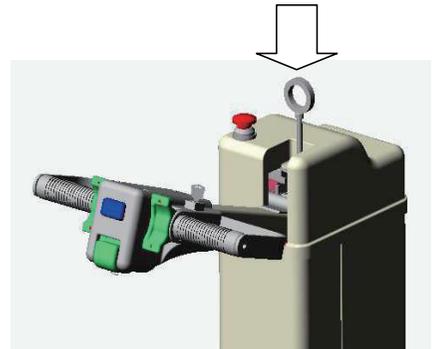
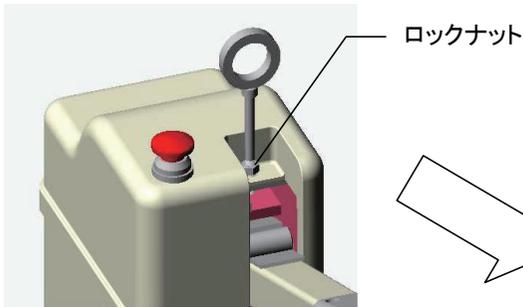
■SU25・SU40スーパーユニット取付けに関する注意事項

- 1 納入時は、下記の図のように吊り上げ用ボルトが取付けてあります。スーパーユニットを吊り上げる場合は、必ず吊り上げ用ボルトを利用してください。

※ハンドル等他の場所は絶対に吊り上げないでください。

- 2 スーパーユニットの取付け完了後は、吊り上げ用ボルトのロックナットを緩め取り外し、付属のM8六角穴付ボタンボルトを締め付けてください。

吊り上げ用ボルト



付属部品

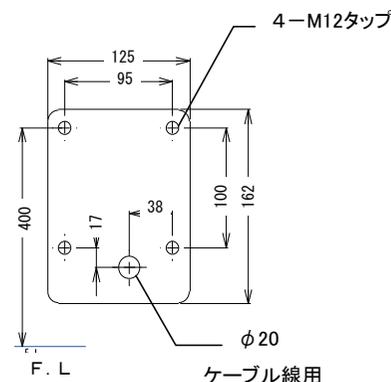
M8六角穴付ボタンボルト 1ヶ	SU取付用M12六角穴付ボルト・ワッシャ 各4ヶ
	

製品の仕様

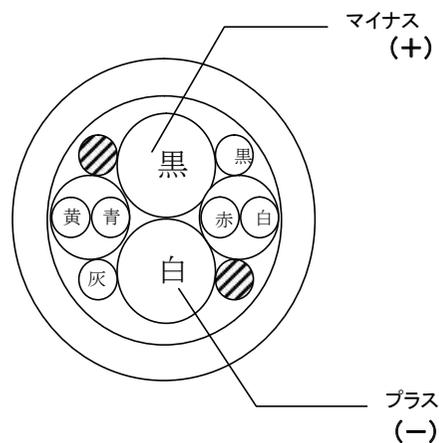
仕様		型式	SU 2 5	SU 4 0
最大牽引質量			1000kg	1500kg
牽引力 (定格)			441N (45kgf)	686N (70kgf)
全高			1220mm	1220mm
全長			415mm	415mm
全幅			375mm	375mm
走行装置	モーター		DC 12V 250W	DC 12V 400W
	減速装置		ギヤ-式	ギヤ-式
	ブレーキ		電磁ブレーキ	電磁ブレーキ
制御装置			FETチョッパー方式	FETチョッパー方式
走行速度	無負荷		0~3.6km/h	0~2.6km/h
	負荷		0~2.5km/h	0~2.0km/h
登坂能力			4°	4°
駆動車輪			Φ250ノーパンクタイヤ	Φ250ノーパンクタイヤ
車体質量			75kg	79kg

取付方法

- ① スーパーユニットを移動台車などに取付ける時は、図の取付け寸法図をもとに、取付け位置を決めてください。取付け板は弊社でオプション販売しております。
- ② 電源は、DC 12Vです。65～120Ah（5時間率）をご使用ください。
- ③ スーパーユニットから出ているケーブル線（ケーブル断面図参照）7mm²の白色コードがプラス、黒色コードがマイナスです。
- ④ 上記の、白色コードをバッテリーのプラス端子に接続します。
- ⑤ 同じく黒色コードをバッテリーのマイナス端子に接続します。
- ⑥ その他のコードは、予備コードです。
- ⑦ 上記取付け寸法は、無負荷時の寸法です。駆動車輪にかかる質量により、タイヤの歪が発生します。目安として上記寸法より-8mm～10mm減で、取付け寸法を決めてください。（但し、オプションのウレタンホイールは、除く。）
- ⑧ 駆動車輪を含め四輪接地構造で、路面の凹凸又は、4°までの坂等で使用される場合は、別売のスプリングキャスターを取付けることをお勧めします。



取付け板寸法図



ケーブル断面図



注意

操作方法を誤ると人身事故になる恐れがあります。注意事項を守り正しく操作してください。

- ① スーパーユニットを取付ける際、スーパーユニットが転倒しないよう充分注意をして行ってください。
- ② スーパーユニット取付け部の強度に注意して下さい。又、取付けボルトの閉め忘れ等の無いようにして下さい。
- ③ バッテリーの極性（プラスとマイナス）を絶対に間違えないでください。
※機器が破損します。
- ④ バッテリー端子のゆるみの無いようにして下さい。
- ⑤ 接続コードを延長される場合は、弊社にご相談ください。

始業点検

作業の安全と本機の性能を維持する為、その日の作業を開始する前に次の点検を必ず行って下さい。法律によって義務づけられています。

	点検項目	点検内容
制動装置	ブレーキの作動点検	ブレーキの効きは充分か
	走行スイッチの点検	作動は正常か
操縦装置	ハンドルの点検	緩み・ガタはないか
	各部の作動点検	各部の作動は正常か損傷はないか
	配線部の点検	損傷はないか
	減速機部の点検	油漏れはないか
車輪	車輪の点検	異常磨耗、損傷はないか
	取付けボルトの点検	ボルトが緩んだり外れていないか
バッテリー	充電の確認	バッテリーの容量は充分か
		ターミナル配線が緩んだり傷んだりしていないか
その他	ホーンの点検	ホーンは鳴るか
	点検項目以外	異常箇所はないか

操作方法

- ① キースイッチをONにして下さい。
 - ② ハンドルを手前に倒すと、電磁ブレーキが解除され、制御回路に通電されます。
 - ③ 走行スイッチは、左右一体型です。
 - ④ 走行スイッチをゆっくりと操作すると、矢印方向に前進（▲）後進（▼）します。
 - ⑤ 機体が停止していない状態で反対方向に走行スイッチを操作しないでください。機体の損傷の原因になります。
 - ⑥ セフティスイッチは、運転者が機体のハンドルと壁や柱などの間に挟まれそうになった場合、このスイッチを前に押す事で走行方向を変えることができます。
 - ⑦ ハンドルを立てると、電磁ブレーキが働き停止します。ハンドルを立てないと、機体は、慣性で走行します。
 - ⑧ 必要ときは、ホーンスイッチでホーンを鳴らすことができます。但し、キースイッチがOFFの場合とハンドルを立てている状態では、鳴りません。
 - ⑨ 機体から離れる時は、必ずハンドルを立てた状態で、キースイッチをOFFにし、抜いてください。
- ※キースイッチをONの状態では、バッテリーが消耗します。**
- ⑩ 緊急時は、非常停止釦を押してください。電源がカットされて停止します。解除する場合は、赤い釦部分を時計回りに回転させると、電源が通電されます。

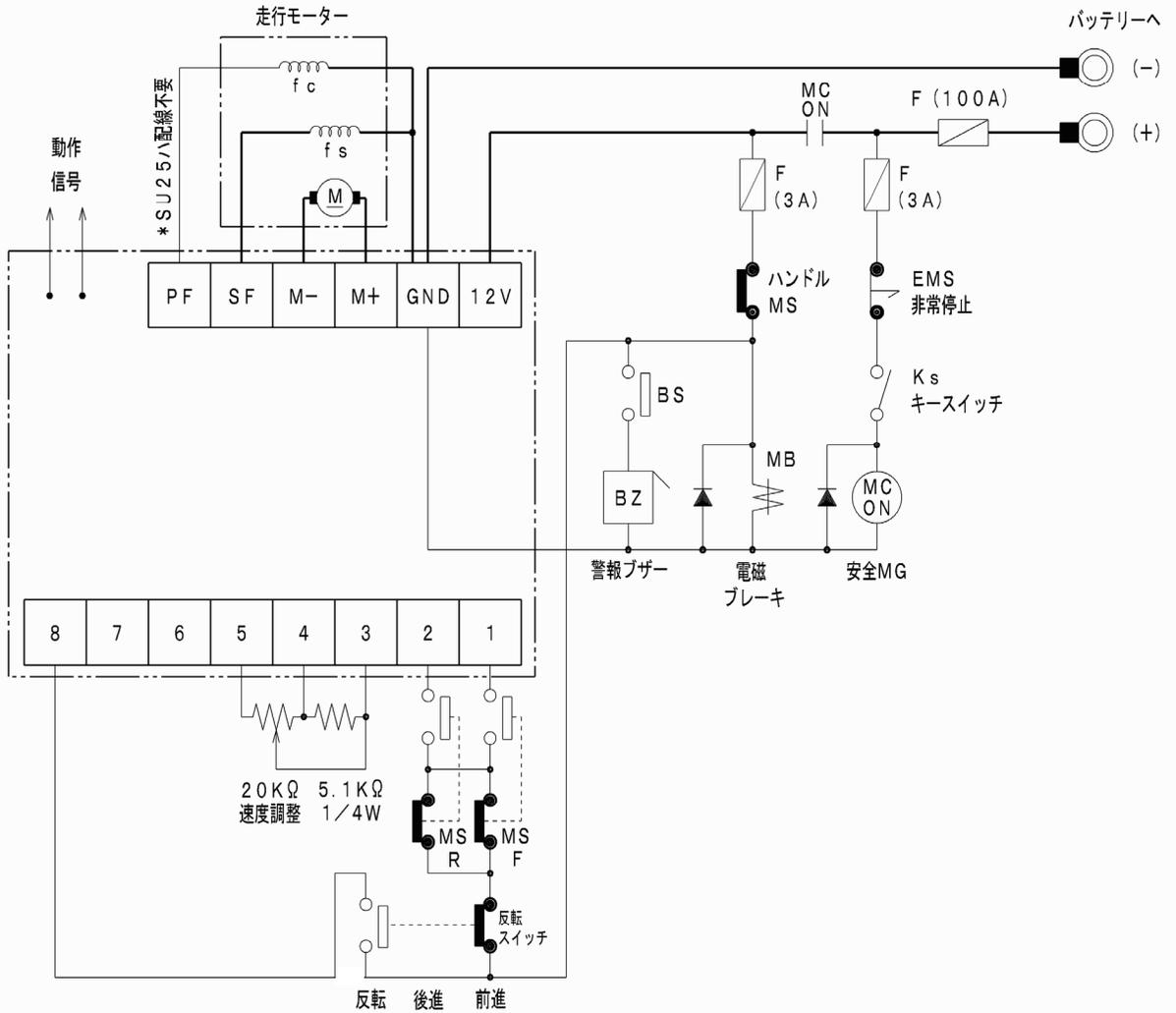


注意

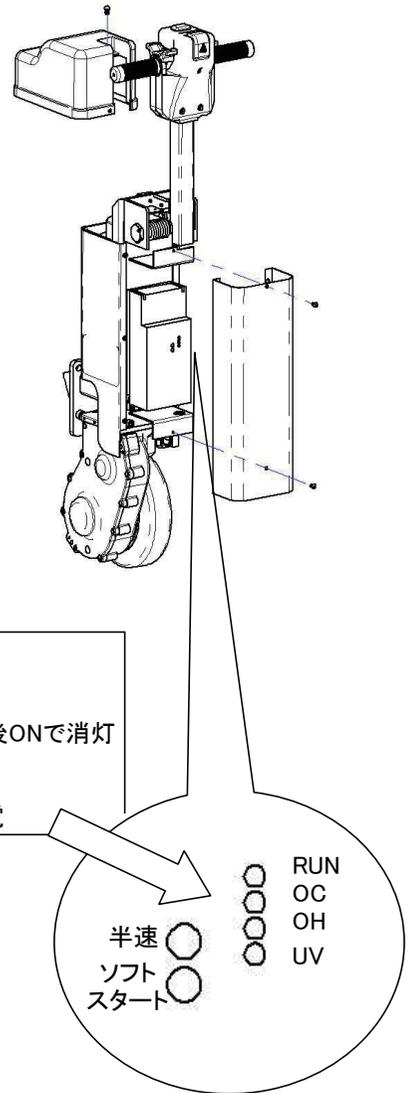
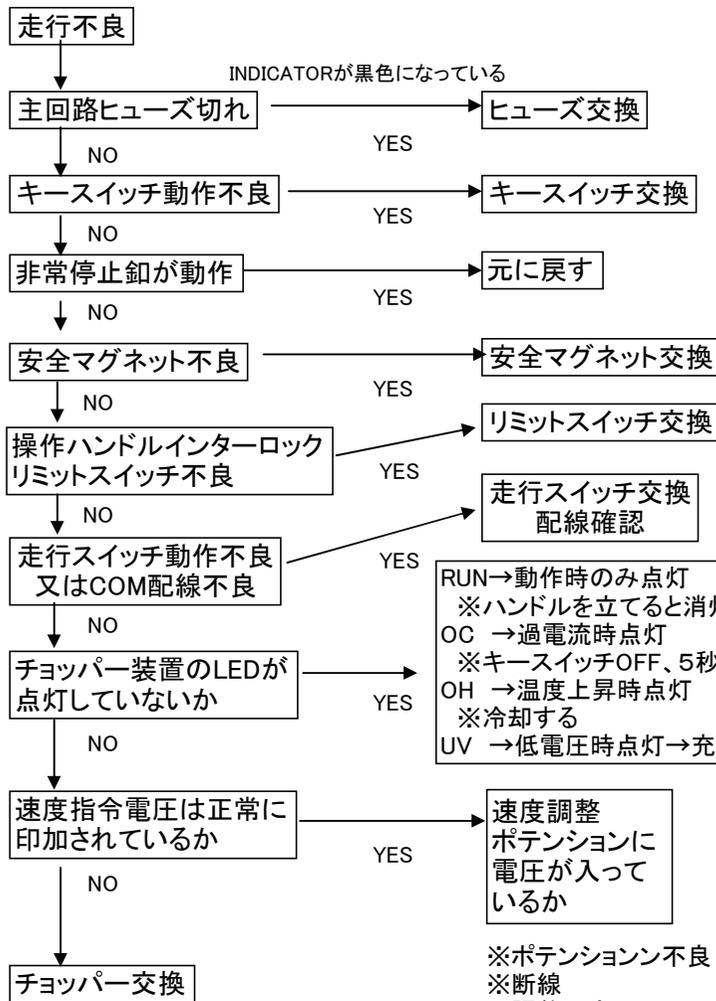
操作方法を誤ると人身事故になる恐れがあります。注意事項を守り正しく操作してください。

- ① 走行する前は、必ず、路面の状態・積荷の状態などの安全を充分確かめて、周囲の安全の確認を行ってから走行してください。
- ② 傾斜・溝などの突起物がある時は、充分注意してください。
- ③ 坂で停車する時は、必ずハンドルを立てかキースイッチをOFFにし、電磁ブレーキを作動させてください。電磁ブレーキを作動させないと、**慣性で動き危険**です。
- ④ 足など、駆動車輪に踏まれない様に、充分注意してください。
- ⑤ 本機は屋内使用ですので、屋外に放置しないでください。
- ⑥ 水分厳禁です。雨など水のかかる場所では、使用しないでください。もし水分がかかった時は、速やかに拭き除いてください。

電気回路図

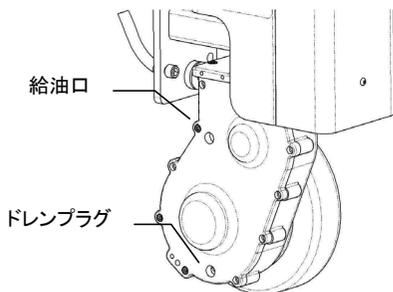


故障の早見表



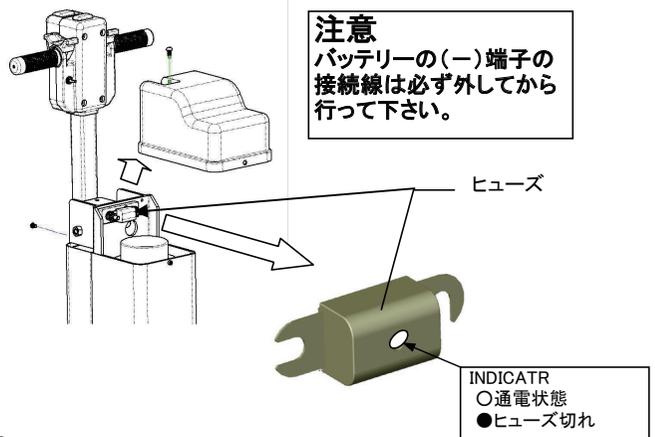
■ギヤーオイルの交換(3年に1回)

ギヤーオイル#220(ISO)0.8リッター
グリースアップ(月1回)



■ヒューズの交換

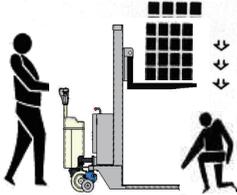
ヒューズのINDICATORが黒くなっている場合は、ヒューズ切れです。交換して下さい。
樹脂カバーを止めているボルト2本を外し、樹脂カバーを外してヒューズの交換をして下さい。



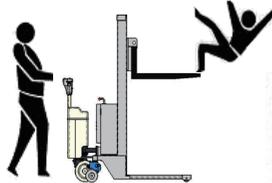
■下記の様な用途に御使用される場合は御注意下さい

 **危険**

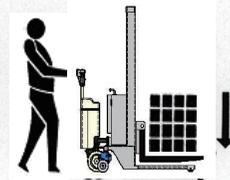
お守りいただかないと貨物の落下や機械の転倒により重大な人身事故につながる恐れがあります。



●立ち入り禁止
フォークの下には人の立ち入りを禁止します。



●搭乗禁止
フォークや貨物の上には人を乗せてはいけません。



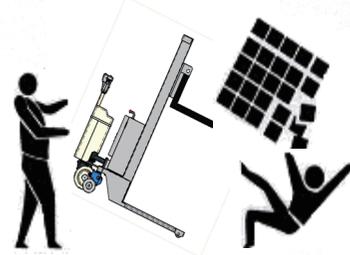
●安定走行の確保
15-20cmまでフォークを降ろして走行してください。

 **警告**

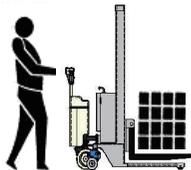
お守りいただかないと貨物の落下や機械の損傷および人身事故の発生につながる恐れがあります。



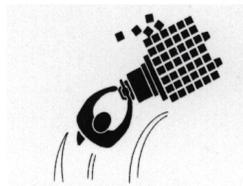
●路面を確認
傾斜、凹凸、段差のある路面や軟弱な路面で昇降、走行、旋回、駐車禁止。



●貨物のバランス確保
偏荷重、先端荷重、点荷重にしてはいけません。



●駆動輪との距離を保つ



●乱暴な運転は禁物



●作業後はキーを抜いて保管